

平成30年3月30日

学校関係者評価委員会報告

平成29年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

日時 平成30年3月22日(木) 13時10分～14時5分

場所 大川学園医療福祉専門学校会議室

1 学校関係者評価委員

- ① 小林健一 (つつじの園施設長)
- ② 新井 望 (さくら野整骨院長)
- ③ 北野 哲 (大川学園高等学校長)

2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

別紙（議事進行順ではなく、書式に準拠）

I 重点目標について

1. 運営
 - ① 学生指導及び学生募集の強化。
 - ② 運営委員会の充実を図る。
 - ③ 地域貢献に寄与する。
2. 学校管理
 - ① 保健衛生：健康保持増進に努める。
 - ② 環境安全：設置基準安全基準等を考慮し、環境整備に努める。
 - ③ 交通事故防止：学生、教職員の交通事故ゼロに努める。
3. 学生支援
 - ① 中途退学者、留年者減に努める。
 - ② 国家試験対策の強化。
 - ③ 就職決定率100%。
 - ④ 課外活動の活性化。
 - ⑤ アンケート実施。
4. 教員研修・学校評価
 - ① 自己研鑽に努める。
 - ② 自己評価委員会、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の実施

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

2 学校運営

3 教育活動

新井委員

柔道整復学科は制度的に厳しくなっている。それにより社会人は減少すると思う。
新しいカリキュラムで、あんま指圧師が講師となって指導することは良いと思う。

4 学修成果

5 学生支援

新井委員

退学率が増加していることは気になる。学生には自ら学べるようになってほしい。

6 教育環境

7 学生の募集と受入れ

小林委員

新しいものを提供している。それが学生募集に反映できるとよいと思う。

内部進学者（J3、K1）は少ないのでは。

北野委員

説明会参加から出願者への歩留まりが悪くなっているというが、良い点は。

重田委員

新カリキュラムと卒業生活躍等が良かった点と考える。

北野委員

内部進学者に関しては、増えるように考えている。具体的には新聞委員会に依頼し、新聞記事に専門学校の内容を入れることになっている。

また、医療介護講座を通して、進学者がより多くなると思う。

大川学園高校の卒業生進路は、進学者が昨年度に比べて多くなった。

また、新生は 普通科 38 名、福祉科 43 名の予定。

8 財 務

9 法令等の遵守

10 社会貢献・地域貢献